

## 「第 18 回長野県障がい者スポーツ大会参加申込書」 記入上の留意事項

### 【記入上の注意】

- ※1 県障がい者スポーツ大会の出場回数について、該当欄に記入すること（競技種別問わず）。なお、平成 12 年まで開催された「長野県身体障害者スポーツ大会」及び「長野県知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック）」への出場回数も含むものとする。
- ※2 平成 31 年 10 月に茨城県で開催される第 19 回全国障害者スポーツ大会への出場を希望する選手は、該当欄に○を記入すること。個人競技については、当大会に出場する選手の中から、当大会での記録を参考に、選考委員会を開催して選手の選考を行う。
- ※3 現在治療中の病気又は持病もしくは健康に不安がある者は、出場に当たって医師に確認し、出場の可否を記入すること。
  - ・参加者は、健康状態を十分把握し、自己の責任において参加してください。
  - ・選手については主催者が傷害保険に加入します。ただし、この保険は内科疾患などによる入院等については適用されません。
  - ・大会中の事故については主催者が応急処置を行います。それ以外の責任は一切負わないものとします。
- ※4 水泳で障がい区分 24 の者でターン及びゴール時に合図棒等でのタッピングを希望する者は該当欄に記入すること。（区分 23 の者は申請が無くても全員に実施。）
- ※5 アーチェリーで、障がい区分 1（第 8 頸髄まで残存）の者はリカーブ部門において、審判長の承認を得て手に補助具（リリースエイド等の発射装置）を使用することができる。

### 【参加申込書の取り扱いについて】

この申込書は、住所、年齢等の確認及び競技の組合せ作成の基礎資料として使用する以外の目的では使用しません。ただし、次の事項については例外として、あらかじめ承諾の上申し込むものとします。

- 1 大会プログラム等の印刷物に氏名、年齢、性別、障がい区分及び所属を掲載すること。
- 2 大会中に撮影した写真、映像等を、障がい者スポーツの振興及び大会の目的推進のために、PR活動等で使用すること。
- 3 1 位入賞者について、氏名、年齢、性別、障がい区分及び所属について、新聞等の報道機関に公開すること及び選手の大会結果について、主催者の管理するホームページ等で公表すること。

### 【介助者へのお願い】

許可を得ない介助者が競技場内に入った場合、競技者を失格とする場合があります。介助者は、競技大会であることを十分に御認識いただき、介助にあたってください。